

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：九州地方整備局都市・住宅整備課
担当課長名：栗田 泰正

| | | | | | |
|-----|---|------|------------|------|------|
| 事業名 | 都市計画道路 <small>ひがしあいかわのぶすませんくくぶみい</small> 東合川野伏間線(国分御井工区) | 事業区分 | 街路 道路改築 | 事業主体 | 久留米市 |
| 起終点 | 福岡県久留米市御井町字榎木畑 福岡県久留米市国分町字北島 | 延長 | 1.3 km | | |

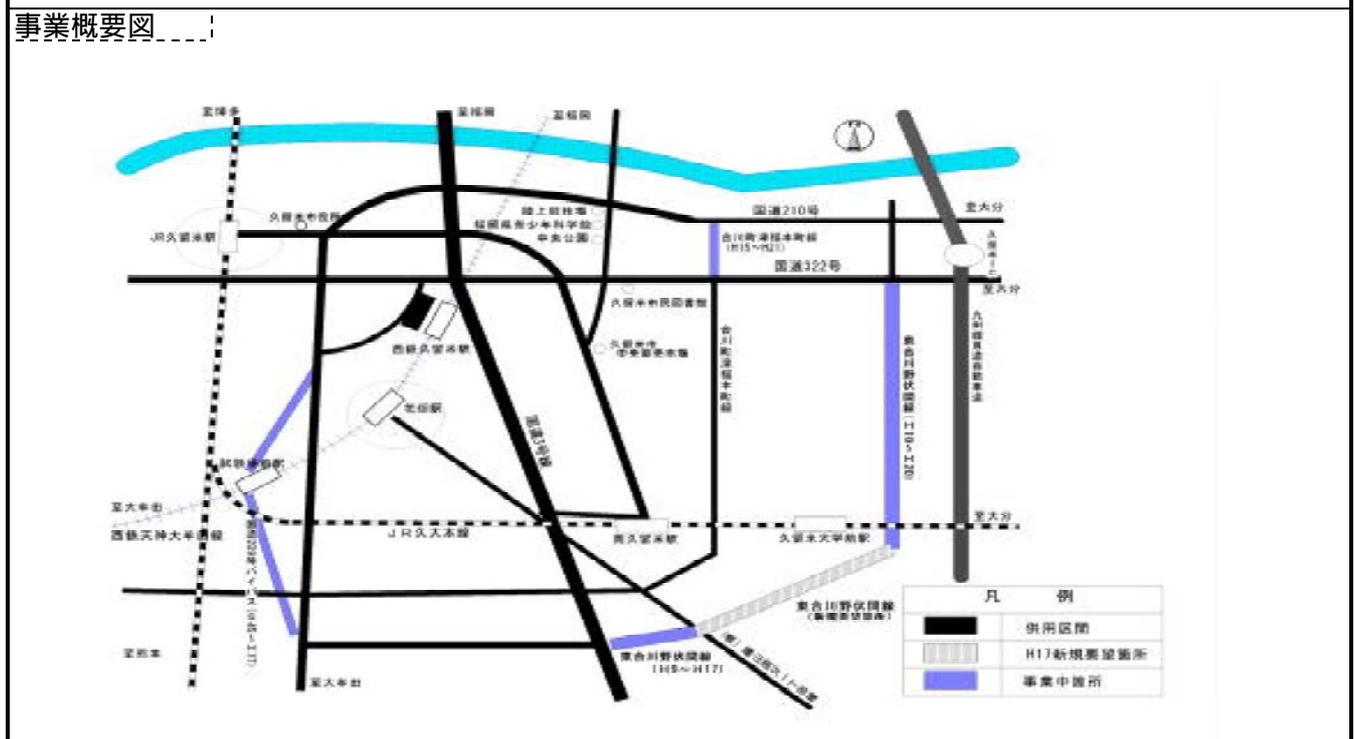
事業概要
都市計画道路東合川野伏間線は、国道210号を起点として九州縦貫道久留米I.C、国道3号、国道209号を連絡し、久留米市の外環状道路を形成する重要な路線である。
国分御井工区は、九州縦貫道久留米I.Cから国道3号の区間の中間部に位置する延長1.3 kmの4車線道路である。

事業の目的、必要性
都市計画道路東合川野伏間線(国分御井工区)は、都市基盤を強化し都心部を中心とした交通混雑の緩和を図ることで、中核都市に相応しい都市部の形成と地域間交流の促進に大きく寄与するものである。

| | | | | | |
|-----------|------|-----|-------|---|--|
| 全体事業費 | 61億円 | | 計画交通量 | 34,900台/日 | |
| 費用対効果分析結果 | B/C | 3.2 | 総費用 | 49.2億円 (事業費：49.1億円 維持管理費：0.1億円) | |
| | | | 総便益 | 157.2億円 (走行時間短縮便益：119.3億円 走行費用減少便益：23.4億円 交通事故減少便益：14.5億円) | |
| | | | 基準年 | 平成16年 | |

- 事業の効果等**
- ・円滑なモビリティの確保（並行区間における混雑時旅行速度が20 km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待できる）
 - ・都市の再生（市街地の都市計画道路の密度が向上する）
 - ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる）
 - ・他のプロジェクトとの関係（都市計画道路整備プログラムに位置づけられている）

他
関係する地方公共団体等の意見
東合川野伏間線は、久留米市の都市骨格として地域経済の発展、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすと期待されており、福岡県と久留米市で短期的・集中的に整備を進める必要がある。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。